



吉 水

8月1日現在 <前月比>
 65歳以上男 1,570人<±0>
 65歳以上女 1,824人<+10>
 高齢化率 19.76%<+0.06>

発行 吉身学区社会福祉協議会

シリーズ 吉身学区の たからもの 【吉身西町自治会】

吉身神社の祭りサンヤレ（豊年踊り）は、先の秘録では「往古より村内二五家が奉行す、其氏族は旧家にて六角家が10日前に25番くじを引当る者を役付とし祭礼奉行、神輿奉行と踊り子、音戸等25名を以て組織す」とあります。

江戸時代から五穀豊穡、天下泰平、村の繁栄を願って催されてきた祭礼は12・13日と一番遅い祭り、道路一杯に観衆であふれたが、現在は5月4日と5日に行われています。

昔の祭礼は、神馬、3種の神器、旗付鉾四流、神輿三基、よねこ踊り、笛、かね、太鼓、音頭取、神宮騎馬、禰宜歩行、領主供奉行列・・・と大そう賑やかだったそうです。



このなかの「よねこ踊り」は、現在「豊年踊り」と呼ばれていますが、昭和の初めまで囃子の中で歌われる「サンヤレ」といわれてきました。同じような歌、鳴り物、踊りが栗東や守山にみられますが、いずれも豊年を祈る田遊びから発達した田楽踊りの一種です。残念ながら明治11年に二五家制度は廃止され、昔の様子は変わりましたが、その後も東町・西町でこの踊りを隔年で行って来ました。昭和31年頃、青年団の消滅もあり中断されましたが、吉身住人の西井留吉、山本義男、小林栄三、寺田守男さん等の再現呼びかけの努力にて昭和51年に復活再興され現在に至っています。

このよねこ踊り（サンヤレ、豊年踊り）は、太鼓打ち2名（小学5～6年生）、太鼓持ち2名（青年男子）、ささら摺り6～8名（小学1～3年生）、かね4～6名（小学3～4年生）、笛6～8名（小学4～中学1年生）の男子と音頭取り8名で行われます。



衣装は、太鼓打ちは振袖の紋付に袴、花笠を被り、手甲脚絆に白足袋、草鞋履き、肩には襷を掛け、しごき帯を結んでいます。祭礼が2日にわたるため2組の準備が必要です。音頭取りも太鼓持ちと同じもので祭り団扇と手拭いを持って踊ります。

♪♪ サア見物衆の御前で レオ踊ろうかサンヤレ ♪♪

ボランティア登録者交流会

ボランティア部会 中谷 隆一

8月8日（水）「アロマの香りを楽しみましょう」と題して、本年度第1回ボランティア登録者交流会を開催しました。

参加者は30名で、講師には、吉身学区在住のタッチアロマインストラクター戸村紀子さんと河野恵子さんをお迎えしました。基本的なアロマ（精油）の香りや効能を学んだ後、アロマオイルを手に塗ってタッチアロマの体験をしました。アロマには、相手の緊張をほぐし、幸せホルモン（オキシトシン）が分泌される効果があることを知りました。まさにアロマで心をやさしく包まれたようなひとときでした。



お知らせ

募集

吉身小学校・立入が丘小学校のみなさん

11月4日（日）開催される「第20回福祉の心を育てるつどい」で、お友達と一緒に和太鼓の発表に参加しませんか？

はじめての方も大歓迎です。保護者の方の参加もお待ちしています。

和太鼓発表の11月4日（日）までに、9回練習をします。詳細は、小学校から配布されたチラシをご覧ください。

ボランティア部会員、ボランティア登録者によるボランティア登録者交流会を開催します。

【日時】平成30年9月28日（金）
 午前9時から2時間程度（雨天中止）

【場所】吉身小学校グラウンド
 吉身会館周辺および調理室

【内容】除草作業、清掃活動

【持ち物】草刈り鎌・軍手

